

早明浦

河川コード	8808070001
ダムコード	30803934100000
ダム名	早明浦ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070001	8808070001	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803934100000	30803934100000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	早明浦ダム	早明浦ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2018/4/16	2018/4/16	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:14	11:40	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	晴	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	14.2	15.7	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	72.0	54.9	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	7.8	6.6	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	7	8	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	327.14	327.14	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	5.65	5.65	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.00	0.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスタン・テクニカル・センター	(株)エクスタン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式I-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	1	2	様式I-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Tetraedron属		600	1200	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
緑藻綱-車軸藻綱	その他の非遊泳性緑色単細胞		77000	11000	
	その他の緑色系状体		500	1500	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群			2400	
	Lindavia属		47000	18000	
	Asterionella formosa群		6000	1800	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		38000	20000	
	Nitzschia属			600	
黄金藻綱	Dinobryon属		1700	20000	
渦鞭毛藻綱	Gymnodinium属(広義)			3000	
	Peridinium bipes		48000	31000	
	その他のPeridinium属		26000	14000	
	合計		244800	124500	細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		9	12	出現した種類数を記入する。

早明浦\_植プラ

河川コード	8808070001
ダムコード	30803934100000
ダム名	早明浦ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領	
1	河川コード	-	8808070001	8808070001	河川コードを記入する。	
2	ダムコード	-	30803934100000	30803934100000	ダムコードを記入する。	
3	ダム名	-	早明浦ダム	早明浦ダム	ダム名を記入する。	
4	調査年月日	-	2018/5/17	2018/5/17	調査年月日を記入する	
5	調査地点(採水位置)	-	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。	
6	調査開始時刻	-	9:07	11:02	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。	
7	天候	-	晴	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。	
8	気温	℃	24.4	26.6	小数点以下第1位まで記入する。	
9	全水深	m	72.0	55.5	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。	
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。	
11	透明度(ダム貯水池)	m	9.4	7.0	小数点以下1位まで記入する。	
12	水色(ダム貯水池)	-	7	9	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。	
13	貯水位	EL. m	327.76	327.76	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	22.21	22.21	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	55.40	55.40	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
17	採集方法	-	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。	
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。	
19	調査深度	-	表層	表層	調査深度を記入する。	
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。	
21	計数方法	-	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。	
22	同定者	-	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。	
23	同定者所属	-	(株)エクスラン・テクノカル・センター	(株)エクスラン・テクノカル・センター	同定者の所属を記入する。	
24	写真整理番号	-			様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。	
25	標本番号	-	3	4	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。	
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L		
緑藻綱	Elakatothrix属		400		水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。	
緑藻綱-車軸藻綱	その他の非遊泳性緑色単細胞		16000	14000		
	その他の緑色糸状体		1500	800		
珪藻綱	Lindavia属		74000	60000		
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		9600	62000		
	Ulnaria japonica			100		
黄金藻綱	Dinobryon属		4000	1800		
渦鞭毛藻綱	Gymnodinium属(広義)		600	1800		
	Peridinium bipes		20000	140000		
	その他のPeridinium属		17000	4200		
	合計		143100	284700		細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		9	9		出現した種類数を記入する。

早明浦ダム

河川コード	8808070001
ダムコード	30803934100000
ダム名	早明浦ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070001	8808070001	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803934100000	30803934100000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	早明浦ダム	早明浦ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2018/6/5	2018/6/5	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:03	10:34	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	曇	曇	晴, 曇, 小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	20.6	23.1	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	69.0	51.1	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	10.4	7.3	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	6	8	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL. m	323.71	323.71	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	6.97	6.97	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	37.10	37.10	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスラン・テクノカル・センター	(株)エクスラン・テクノカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	7	8	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
緑藻綱-車軸藻綱	その他の非遊泳性緑色単細胞		1800	5400	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、
珪藻綱	Lindavia属		23000	53000	Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Asterionella formosa群			800	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		22000	29000	
	Tabellaria属			300	
	Gomphonema属		200		
黄金藻綱	その他のハネケイソウ科珪藻			600	
	Nitzschia属			1200	
	Dinobryon属		2600		
渦鞭毛藻綱	Ceratium hirundinella			100	
	Gymnodinium属(広義)		300	300	
	Peridinium bipes		50000	390000	
	その他のPeridinium属		7200	600	
	合計		107100	481300	細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		8	11	出現した種類数を記入する。

早明浦ダム

河川コード	8808070001
ダムコード	30803934100000
ダム名	早明浦ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070001	8808070001	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803934100000	30803934100000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	早明浦ダム	早明浦ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2018/7/25	2018/7/25	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:14	11:40	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	晴	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	31.0	33.5	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	70.0	52.6	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	4.1	3.4	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	9	9	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	325.70	325.70	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	6.92	6.92	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	42.70	42.70	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスラン・テクニカル・センター	(株)エクスラン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	9	10	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Ankyra-Schroederia属		1800		水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻		3600	9000	
	その他の非遊泳性緑色単細胞		3000		
	その他の非遊泳性緑色群体		650000	400000	
珪藻綱	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		1800	3600	
	Urosolenia属		1200	4200	
	Acanthoceras zachariasii		3000		
	Fragilaria rumpens			1800	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		31000	970000	
	Ulnaria japonica		3600	3600	
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes		100	600	
	その他のPeridinium属		300	1200	
	合計		699400	1394000	細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		11	9	出現した種類数を記入する。

早明浦\_植プ

河川コード	8808070001
ダムコード	30803934100000
ダム名	早明浦ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070001	8808070001	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803934100000	30803934100000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	早明浦ダム	早明浦ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2018/8/7	2018/8/7	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:07	11:27	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	晴	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	27.6	29.6	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	62.0	45.1	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	5.6	3.5	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	7	8	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	318.35	318.35	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	1.95	1.95	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	47.00	47.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスタン・テクニカル・センター	(株)エクスタン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	11	12	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Eudorina属			3200	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Tetraedron属		1200		
	Elakatothrix属		2400	7200	
	Oocystis属		4800	34000	
	Scenedesmus属		19000		
	Asterococcus-Coenochloris-Planktosphaeria-Sphaerocystis属			58000	
車軸藻綱	Cosmarium属		600		
	Staurastrum属			100	
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻			9000	
	その他の非遊泳性緑色単細胞		470000	980000	
	その他の非遊泳性緑色群体		2400		
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		5400	4800	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		220000	1600000	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		1200	3000	
	その他のハネケイソウ科珪藻		1800		
	Nitzschia属		600		
黄金藻綱	Dinobryon属			700	
渦鞭毛藻綱	Ceratium hirundinella			200	
	Peridinium bipes		1800	300	
	その他のPeridinium属		3000	28000	
	合計		734200	2728500	細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		14	14	出現した種類数を記入する。

早明浦ダム

河川コード	8808070001
ダムコード	30803934100000
ダム名	早明浦ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070001	8808070001	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803934100000	30803934100000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	早明浦ダム	早明浦ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2018/9/19	2018/9/19	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:10	11:09	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	晴	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	23.6	27.6	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	72.0	54.6	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	6.5	6.5	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	8	8	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL. m	327.73	327.73	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	11.57	11.57	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	58.20	58.20	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスラン・テクノカル・センター	(株)エクスラン・テクノカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	15	16	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Eudorina属			3200	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Tetraedron属		600	1800	
	Elakatothrix属		1200	7200	
	Kirchineriella属		3200	19000	
	Monoraphidium属			1200	
	Oocystis属		1200	800	
Scenedesmus属		12000	4800		
緑藻綱-車軸藻綱	その他の非遊泳性緑色単細胞		15000	12000	
	その他の非遊泳性緑色群体		19000	96000	
	その他の緑色糸状体		1200	9600	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		600	4200	
	Lindavia属			600	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		7800	25000	
	Urosolenia属		600	600	
	Acanthoceras zachariasii		1200	7800	
	Asterionella formosa群			2400	
その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		600	3600		
渦鞭毛藻綱	Ceratium hirundinella			100	
	Peridinium bipes		4800	3000	
	その他のPeridinium属		4200	2400	
	合計		73200	205300	細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		15	20	出現した種類数を記入する。

早明浦ダム

河川コード	8808070001
ダムコード	30803934100000
ダム名	早明浦ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070001	8808070001	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803934100000	30803934100000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	早明浦ダム	早明浦ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2018/10/15	2018/10/15	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:12	10:56	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	曇	曇	晴, 曇, 小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	16.7	19.5	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	73.0	53.8	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	3.4	2.7	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	8	11	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL. m	327.06	327.06	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	18.69	18.69	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	18.70	18.70	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスラン・テクニカル・センター	(株)エクスラン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	17	18	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Eudorina属		1600		水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Elakatothrix属		800	400	
	Scenedesmus属			1200	
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻			600	
	その他の非遊泳性緑色単細胞			600	
	その他の緑色糸状体		6000	3000	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		3000	3600	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		16000	12000	
	Acanthoceras zachariasii		23000	28000	
	Asterionella formosa群		800	1800	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)			1200	
	Achnanthydium属(広義)			600	
	Cymbella属(広義)		600		
黄金藻綱	Dinobryon属		900		
渦鞭毛藻綱	Ceratium hirundinella		600		
	Gymnodinium属(広義)		1800	300	
	Peridinium bipes		34000	70000	
	その他のPeridinium属		1200	600	
	合計		90300	123900	細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		13	14	出現した種類数を記入する。

早明浦\_植プ

河川コード	8808070001
ダムコード	30803934100000
ダム名	早明浦ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070001	8808070001	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803934100000	30803934100000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	早明浦ダム	早明浦ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2018/11/6	2018/11/6	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:14	13:36	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	曇	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	12.6	19.8	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	70.0	52.9	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	6.2	5.5	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	7	7	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL. m	325.93	325.93	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	6.00	6.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	60.10	60.10	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスラン・テクニカル・センター	(株)エクスラン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	19	20	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Elakatothrix属			600	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Oocystis属		600	7200	
	Scenedesmus属		800	800	
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻		1800	1800	
	その他の非遊泳性緑色単細胞			600	
	その他の緑色糸状体		3200	3600	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		1200	1200	
	Lindavia属		5400	2400	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻			1800	
	Acanthoceras zachariasii		11000	22000	
	Asterionella formosa群			1200	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		4800	19000	
	Achnanthyidium属(広義)		600	600	
	その他のハネケイソウ科珪藻			300	
	Nitzschia acicularis群		300	300	
	Nitzschia属			600	
黄金藻綱	Dinobryon属		1800		
	Synura属		1200		
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes		5400	42000	
	その他のPeridinium属			300	
合計			38700	105700	細胞数または群体数の合計を記入する。
種類数			14	17	出現した種類数を記入する。



早明浦ダム

河川コード	8808070001
ダムコード	30803934100000
ダム名	早明浦ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070001	8808070001	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803934100000	30803934100000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	早明浦ダム	早明浦ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2018/12/4	2018/12/4	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:10	12:13	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	曇	曇	晴, 曇, 小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	15.0	15.7	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	64.0	45.2	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	6.8	6.5	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	7	7	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL. m	318.33	318.33	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	16.61	16.61	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.00	0.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスラン・テクニカル・センター	(株)エクスラン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	23	24	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Dictyosphaerium属		1600		水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Elakatothrix属		400	1200	
	Scenedesmus属			4800	
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻		600		
	その他の緑色糸状体		2400	800	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		1200	2400	
	Lindavia属		4200	13000	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		1200	1200	
	Urosolenia属		600		
	Acanthoceras zachariasii		3600	6600	
	Asterionella formosa群		11000	6000	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		9000	9000	
	Cymbella属(広義)		200		
	Nitzschia acicularis群		300	300	
黄金藻綱	Synura属		800		
	Mallomonas属		600	1200	
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes		1800	12000	
		合計	39500	58500	細胞数または群体数の合計を記入する。
		種類数	16	12	出現した種類数を記入する。

早明浦ダム

河川コード	8808070001
ダムコード	30803934100000
ダム名	早明浦ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070001	8808070001	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803934100000	30803934100000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	早明浦ダム	早明浦ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2019/1/8	2019/1/8	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:18	12:29	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	曇	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	2.9	8.8	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	53.0	36.7	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	4.5	4.0	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	6	8	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL. m	310.00	310.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.62	0.62	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.00	0.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスラン・テクノカル・センター	(株)エクスラン・テクノカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	25	26	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色糸状体		400	800	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		23000	29000	
	Lindavia属		1800	4200	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		9000	11000	
	Acanthoceras zachariasii			600	
	Asterionella formosa群		1200	800	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		4200	1800	
	Ulnaria japonica		300	200	
	Nitzschia属		600	300	
	コバンケイソウ科珪藻		200		
黄金藻綱	Mallomonas属		1200	1200	
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes			4800	
	合計		41900	54700	
	種類数		10	11	出現した種類数を記入する。

早明浦ダム

河川コード	8808070001
ダムコード	30803934100000
ダム名	早明浦ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領	
1	河川コード	—	8808070001	8808070001	河川コードを記入する。	
2	ダムコード	—	30803934100000	30803934100000	ダムコードを記入する。	
3	ダム名	—	早明浦ダム	早明浦ダム	ダム名を記入する。	
4	調査年月日	—	2019/2/5	2019/2/5	調査年月日を記入する	
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。	
6	調査開始時刻	—	11:42	9:30	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。	
7	天候	—	快晴	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。	
8	気温	℃	10.6	4.0	小数点以下第1位まで記入する。	
9	全水深	m	48.0	28.8	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。	
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。	
11	透明度(ダム貯水池)	m	3.5	2.9	小数点以下1位まで記入する。	
12	水色(ダム貯水池)	—	9	9	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。	
13	貯水位	EL. m	303.52	303.52	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	4.53	4.53	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.00	0.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。	
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。	
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。	
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。	
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。	
22	同定者	—	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。	
23	同定者所属	—	(株)エクスラン・テクノカル・センター	(株)エクスラン・テクノカル・センター	同定者の所属を記入する。	
24	写真整理番号	—			様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。	
25	標本番号	—	27	28	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。	
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L		
緑藻綱	Scenedesmus属			800	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。	
	Asterococcus-Coenochloris-Planktosphaeria-Sphaerocystis属		1600			
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色糸状体			1200		
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		89000	55000		
	Lindavia属		2400	1200		
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		600	1200		
	Asterionella formosa群		9600	7200		
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		3600	3000		
	Ulnaria japonica			300		
	その他のハネケイソウ科珪藻			200		
	Nitzschia acicularis群		300			
黄金藻綱	Mallomonas属			200		
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes			1800		
	合計		107100	72100		細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		7	11		出現した種類数を記入する。

早明浦ダム

河川コード	8808070001
ダムコード	30803934100000
ダム名	早明浦ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070001	8808070001	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803934100000	30803934100000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	早明浦ダム	早明浦ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2019/3/5	2019/3/5	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:46	13:56	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	晴	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	11.7	14.6	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	48.0	29.2	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	4.9	3.9	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	8	9	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL. m	303.72	303.72	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	5.65	5.65	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	5.65	5.65	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスラン・テクノカル・センター	(株)エクスラン・テクノカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	29	30	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Dictyosphaerium属		4800		水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Elakatothrix属			600	
	Oocystis属		600		
	Scenedesmus属		2400		
緑藻綱-車軸藻綱	その他の非遊泳性緑色単細胞		8400	600	
	その他の緑色系状体		1200	400	
ミドリムシ藻綱	Trachelomonas属			100	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		1200	4200	
	Lindavia属		13000	10000	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		1200	600	
	Asterionella formosa群		12000	4800	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		7200	3000	
	Tabellaria属			800	
	Ulnaria japonica		300	600	
Nitzschia acicularis群			600		
黄金藻綱	Dinobryon属		140000	1500	
	Synura属			800	
渦鞭毛藻綱	Gymnodinium属(広義)			600	
	Peridinium bipes			2400	
	その他のPeridinium属		1200	9600	
		合計	193500	41200	細胞数または群体数の合計を記入する。
		種類数	13	17	出現した種類数を記入する。